

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) ニホンダイガク	フリガナ) ショウガクブ	フリガナ) アズマ ゼミナール
日本大学	商学部	東ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) デジタライゼーション	フリガナ) ワタナベ ケイタ	3	無
digitalization	渡邊 啓太		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)
レーザーポインター

研究テーマ (発表タイトル)
地方創生を目的とした新たな働き方の仕組み

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

研究目的は、東京都の過密や地方の過疎化を解消することである。

近年、都市部の人口の過密化と、地方の人口の過疎化が問題となっている。この現象の原因の一つとして、都市部と比べて地方には仕事が少ないことが挙げられている。また、地方に住みたいが、仕事が少ないことを気にして地方に住むことができないと考えている人がいることもわかっている。そこで私達は、都市部の中でも人口流入が激しい東京都をターゲットに定め、そこで生活をしていて、なおかつ仕事があるのなら地方に住みたいという人を対象とした新たなビジネスモデルを提案することで、東京都の過密や、地方の過疎化といった問題を解決できないかと考えた。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

現在の過密地域の問題は人口が増えたため、物価の上昇、公害や騒音、電車や道路などの公共インフラの混雑などの問題が生じている。そして、地方などの過疎地域では、少子高齢化が進み若年率の低下、高齢化の進行が問題となっている。また、空き家の増加、商店街の閉鎖、公共交通の利便性低下などの住民生活における問題や、働き口の減少や耕作放棄地の増大など産業基盤に関する多くの問題が生じている。

3. 研究テーマの課題

過疎・過密問題を解決する方法として、過密地域から過疎地域へ人を移動させることが最善策と考える。しかし具体的に、どうすれば人を過密地域から過疎地域へ移動させることができるのか。また、それを実現するために、どのようなビジネスモデルを構築するべきか、以上2点が課題である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

地方自治体と企業、個人を繋ぐ新たな仕組み、リンクスを提案する。リンクスを提案することで、過密地域から過疎地域への人の移住を促進できると考える。

リンクスとは、ネットワークを通じて、企業が業務を地方自治体に発注して、地方自治体が、労働者へ仲介するシステムである。それぞれのメリットとして、地方自治体のメリットは、「住民が増えることで税収が増える」「人が増えることで活気がつく」「集まった人たちが新たな仕事等を生み出す可能性がある」の三点が挙げられる。

企業のメリットは、「地方自治体毎に様々な恩恵を得ることができる」「地方創生推進による社会貢献」

「人手不足の解消（地方企業）」の三点が挙げられる。労働者のメリットは、「地方に住みたいという夢を叶えられる」「新幹線の利用料金の減額などの、地方自治体毎に様々な恩恵が受けられる」の二点が挙げられる。

このシステムを構築できれば地方創生に繋がる一つの方法になりうると考える。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発）

「地方に住みたいかどうか」また、「地方へ移住するために、どのような支援策があればよいか」のアンケートを取った。

ヤマトシステム開発と静岡県静岡市の地方自治体へ出向いて、私たちの案について担当者の方と話し合い、ご意見を頂いた。

6. 結果や今後の取り組み

ヤマトシステム開発と地方自治体から、アイデアは斬新で面白いとのこと意見を頂いた。

しかし、ヤマトシステム開発からはプライバシーポリシーがあるため正社員が行うような仕事は、外部に出せない、また考えられるリスクへの対応策が不十分とのことだった。地方自治体の方からは、実際にリンクス案を実行したときにかかるお金の見積もり、労働者側の働きがいや、キャリアアップ、社会保障等が考慮されていないとのことだった。今後は、これらの欠点を解消できるような仕組みを考えていきたい。

7. 参考文献

[1]平成27年版 情報通信白書 第二部 110頁、111頁

[2]トラストバンク

<https://www.trustbank.co.jp/news/single/pressrelease/2017/single-pressrelease20170809.php>

(2017/08/19 閲覧)

[3]全国過疎地域自立促進連盟「(都道府県別) 過疎市町村の数」

<http://www.kaso-net.or.jp/kaso-db.htm> (2017/08/09 閲覧)

[4]国土交通省国土審議会政策部会長期展望委員会「「国土の長期展望」中間とりまとめ」

http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/kokudo03_sg_000030.html (2017/08/19 閲覧)

[5]日銀短観 <http://www.boj.or.jp/statistics/tk/index.htm/> (2017/9/24 閲覧)

[6]吉田浩一郎(2014)『クラウドソーシングでビジネスはこう変わる』,ダイヤモンド社

[7]ヤマト運輸 <http://www.kuronekoyamato.co.jp/ytc/customer/> (2017/09/20 閲覧)

[8]静岡市 http://www.city.shizuoka.jp/000_005449.html (2017/09/20 閲覧)

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、提出してください